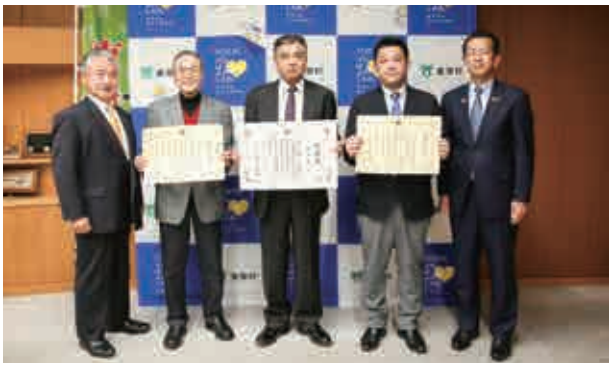
【写真左から】永山さん、藤原さん、山田村長

## 日々の稽古で身に付けた実力を発揮

「全国中学生空手道選抜大会茨城県予選会」「全国中学生空手道選手権大会」

12月17日、第16回「全国中学生空手道選抜大会茨城県予選会」の２年生男子個人組手の部で優勝し、今年３月に京都府で開催される全国大会への出場を決めた永山元大さん（大山台）と「全国中学生空手道選手権大会」で第３位に入賞した藤原聖さん（須和間）が、村長へ報告に訪れました。「厳しい組み合わせが続いたが、稽古の成果が出せた」と話してくれた二人。村長からは「しっかりと稽古を積み、一つでも上を目指してほしい」とエールが送られました。

【写真左から】黒羽根史朗さん（東海保護司の会会長）、西野さん、鈴木さん、河野さん、山田村長



## 安全・安心な社会づくりを目指して

「関東地方更生保護委員会委員長表彰」「茨城県知事感謝状」

12月17日、水戸地方法務局から「関東地方更生保護委員会委員長表彰」を受けた東海保護司の会の河野健一さん（東海）と西野晋哉さん（村松）、「茨城県知事感謝状」を受けた同会の鈴木舜さん（照沼）が、村長へ報告に訪れました。更生保護活動において長年にわたる社会貢献や顕著な功績が評価され、今回の受賞に至りました。受賞を受け、「コロナ禍においてもできる範囲の活動を地道に続け、明るい社会づくりのためにこれからも尽力していきたい」と話しました。

①集合写真を撮影し、いざスタート ②親子での参加も ③地元のテレビ番組の取材で、俳優の賀集利樹さんが訪れてくれました

## 村松地区の魅力を多くの方に広めるために

NPO法人「真砂山FUNクラブ」が現地踏査を実施

11月28日、村松地区で、NPO法人「真砂山（まさごやま）FUNクラブ」が「10キロウオーク」を開催しました。同団体は、“地域の財産である歴史や自然、科学に根差した魅力と夢が連なる村松地区”を目指すために、令和３年５月に設立。今回の10キロウオークは、村松地区の魅力を再発見する「ロゲイニング大会」（指定されたポイントを回り、いかに多く得点を獲得するかを競うもの）の開催に向けて、コース確認現地踏査として行われました。「歩くことを通して多くの方に村松地区の魅力を再発見してほしい」と話す井坂文明理事長。これからの活動に注目です。

## 多様な人材が活躍できる職場環境へ

職員を対象に「性的マイノリティ研修会」を実施

12月14日、役場で、性的マイノリティ（少数者）に関する基礎知識を学ぶとともに、当事者への理解を深めることを目的に「性的マイノリティ研修会」を開催しました。研修では、「ダイバーシティ」（多様な人材を認め、活用すること）や「社会人として知っておくべき『性的マイノリティ』とは」をテーマに、グループワークを通じて考えを深めたほか、「性的マイノリティ当事者が安心して働き活躍できる組織を作るためには」と題し、さまざまな事例を基にその解決策を探るなど、真剣に取り組む職員たちの姿が見られました。

# 年に一度の、子どもたちのためのお祭り♪

## 第38回「東　海　や　っ　た　ん　祭」

11月27日・28日と12月４日、歴史と未来の交流館交流広場で「東海やったん祭」が開催されました。今年の東海やったん祭は、これまでの新型コロナウイルス感染症への対策を講じつつ、開催日を３日間に分散して開催。会場に見合った参加団体数を考慮し、全13団体のうち、一日当たり４団体程度の催しをスタンプラリー形式で実施しました。当日は多くの子どもたちやその家族が訪れ、各ブースを回りながら、さまざまな体験活動を楽しむ姿が見られ、子どもたちの笑顔があふれる３日間となりました。

今年の「東海やったん祭」は、開催方法を昨年より大幅に変更し実施しましたが、1日目に401人、2日目に587人、3日目に219人と、連日たくさんの方にご来場いただきました。3日間とも天気にも恵まれ、大盛況で幕を閉じました。

# 「保育」という おしごと

## ―保育者からのメッセージ―

「保育所の先生になる！」と、私は物心が付く頃から周りに言っていたと、母親が教えてくれました。今思うと、自分が通っていた保育所の先生のことが大好きで、いつも笑顔で遊んでくれたり、たくさん褒めてくれたりするその先生に憧れていたからだと思います。そして子ども好きや世話好きが重なり、いつしか本当に保育士を目指すようになりました。

この仕事を始めて何十年も経ち、気が付けば私も3人の子どもを育てる母親になりました。保育の仕事はもちろん、人生の経験も大きな糧となり、今に至ります。時代の流れが日々変化する中で、私には変わらず大切にしていることがあります。それは〝子どもたちが安心できる存在、保護者の力になれる存在になること〟です。そのために私は、相手の目線に合わせて接することで、うれしい、悲しい、悔しいなどの気持ちを全部受け止め、信頼関係を築けるように心掛けています。

保育の仕事は、子どもたちの命を預かり、一人ひとりの成長を担うとても責任のある仕事です。大変だと思うこともありますが、子どもたちの笑顔や良さを引き出すお手伝いをする中で、子どもたちが目標を達成したり、困難を乗り越えたりしたときの自信に満ちあふれた笑顔を見たときは、とてもやりがいを感じます。また、子どもたちの純粋な心に触れながら、自分自身も新たな発見ができるところも魅力だと思います。

「子どもが好きで、興味はあるけど、私には…」と思っている方へ。いろいろな子どもたちがいるように、いろいろな保育者がいて良いのです。自分だからこそできることを生かしたり、苦手なところを周りの職員と補い合ったりしながら、自分自身も成長することができますよ。ぜひ、勇気を出して保育の仕事への第一歩を踏み出してみませんか。

**とうかい村松宿こども園**
**豊島 智美 指導保育教諭**